

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号	11 02 03	中期総合計画主要施策番号		担当課	部・課	建設部建設政策課技術管理室	
事業名	公共事業再評価(公共事業評価監視委員会の運営)			内線	3328		
				E-mail	gijukan@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・長期間実施している公共事業の再評価を実施し、必要に応じ事業の見直し等を行うことにより、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性をより一層高める。					
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)]					
		・事業着手から長期間が経過した公共事業については、事業の効果が発現できていない事例がいくつかみられる。					
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)]					
	事業内容	・公共事業は「一度始まったら止まらない。」「コストが高い。」「無駄が多い。」等の批判があり、長期間が経過した公共事業の評価に当たっては、第三者の視点からの評価が必要とされる。					
[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)]							
実施期間	H10 ~	根拠法令等	長野県公共事業再評価実施要綱				
成果と達成状況	事業の目指す成果	達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価
	長期間が経過した公共事業の再評価を実施し、効率性及び実施過程の透明性を図る。	長期間が経過した公共事業の再評価対象31箇所の再評価案について、公共事業評価監視委員会に意見を求め、事業の効率性、実施過程の透明性を図るための再評価を行う。			公共事業評価監視委員会の意見を踏まえ、中止3件、一時休止4件、見直して継続24件と決定した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下
事業コスト	区 分	単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要	
	最終予算額 (A)	千円	866	1,157	1,003	国庫・県単	県単
	決 算 額 (B)	千円	866	910		実施方法	直接
	B(H21はA)のうち一般財源	千円	866	910	1,003	歳出節別内訳等	・報償費:486 ・旅費:232 ・需用費:4 ・役務費:188
	概 算 人件費	人	1.00	1.00	1.00	(単位:千円)	
	概算事業費 (B(H21はA)+C)	千円	8,006	8,059	8,152		
事業実績	内 容	単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績	
	再評価実施箇所数	箇所	4	31	11		
	評価監視委員会開催回数	回	8	4	4		
事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明					
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・長期間が経過した公共事業については、見直しを行うために、県による再評価が必要である。 ・適正な再評価を行うために必要な第三者委員会を設置し、最低限の経費により引き続き運営に努めていく。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
課題の総括	・再評価により効果の少ない事業の中止を行うとともに、継続事業にあっても事業規模の見直しやコスト縮減を引き続き行っていく。 ・公共事業に対する県民の目は引き続き厳しく、着手した事業を効率的に実施するとともに、実施過程の透明性を高め、説明責任を果たすためには欠くことのできない事務(委員会)である						